

今回は、第1回さくら塾の報告です。

◇ 社会連携セミナー・さくら塾とは

本校では、企業、大学、NPO、行政機関その他の諸機関、個人と連携した希望者対象セミナー・さくら塾を不定期で行っています。本校が岐阜県スーパーグローバルハイスクールに指定された2014年からはじまり、今年で7年目を迎える事業です。

セミナーのテーマはさまざま、課題研究や国内外研修の内容に合わせたテーマのほか、過去には、生徒のリクエストに応じての開催や、生徒企画のイベントを実施することもあります。講師の方も、研究者、企業経営者、医療関係者、学生、LGBT当事者団体等、さまざまであり、通常のセミナー形式以外に、ワークショップや討論会を行う場合もあります。

◇ 柳田佳彦さん（関市観光振興トータルプロデューサー）との対話

日時： 2020年7月2日（木）16：35～

場所： 関高等学校小会議室

参加者： 柳田佳彦さん 希望する生徒5名 関係職員

関市の観光振興トータルプロデューサー、柳田佳彦さんをお迎えしてのセミナーを開きました。柳田さんには、昨年12月、地域研究部のフィールドワークにも同行していただいています。研究成果の一部は、広報せき（2020.3）でも紹介されています。

https://school.gifu-net.ed.jp/seki-hs/sgh/html/pdf//2019/2019_sghjoho_48.pdf

<https://www.city.seki.lg.jp/cmsfiles/contents/0000015/15039/01-05.pdf>

◇ 地域交流施設「せきてらす」とはなにか

今回のテーマは「せきてらすの活用」です。

関市は、中世にはじまる刀鍛冶の伝統が息づくまちであり、日本屈指の刃物産業のまちです。現在、関市では、岐阜県刃物会館、関鍛冶伝承館、濃州関所茶屋、フェザーミュージアム、春日神社などの刀鍛冶や刃物に関連する資源が集中する市域中央部のエリアを「刃物ミュージアム回廊」と命名し、観光・産業の情報発信の拠点となる施設（地域交流施設、広場、遊歩道、駐車場等）の整備を進めているところです。

2018年夏、施設建設予定地の埋蔵文化財調査が始まると、鍛冶工房の所在を裏付ける多数の炉跡や柱穴などの遺構とともに、羽口・短刀・鉄滓・砥石などの遺物が検出されました。重層的に見つかった遺構の状況から、製鉄や鍛冶作業が繰り返し行われたと考えられています。工房の形成期は、出土土器の年代観から15世紀前半と推測され、関鍛冶の起源を探る上で大変貴重な調査となりました。遺構は施設地下に保存され、一部をガラス張りにして公開する予定です。2019年秋、「刃物ミュージアム回廊のキャッチコピー」および「地域交流施設の名称」を募集したところ、930件の応募をいただき選定委員会で次のとおり決定しました。

キャッチコピー： 「刃物の歴史をめぐるまち」

地域交流施設名称： 「せきてらす」

ネーミングの由来は、「関」の歴史・伝統・文化を「照らす」、そして未来を「照らす」という意味と、「Terrace（テラス）」のように、来訪者・市民を問わず憩い集う場所を表す意味を含めたものだそうです。せきてらすには、観光案内所、刃物工房、多目的ホール（キッチン設備、控室、倉庫を併設）、トイレ、会議室、作業室兼倉庫が設置されます。

柳田さんから、施設のコンセプトについてのお話をうかがったあと、どんな施設にしたいか、高校生目線で自由に討論することになりました。

◇ 高校生の意見

3年生の生徒5名が集まり、以下のような意見が次々と出されました。

- 今、あちこちで行われている哲学カフェのようなイベントをやってはどうか。
- 現在、関高校では生徒たちがさまざまな探究活動を行っている。校内発表会で活躍できる生徒は限られているが、自分たちの研究成果を披露したい人は大勢いると思う。せきてらすでポスターセッションをやることはできないか。
- 事業者の広報のためのブースを設けてイベントをやってはどうか。
- せっかくキッチンがあるのだから、現在、世界各地で行われているフードカーニバル、レストランディをやってはどうか。
- 高校の演劇部や吹奏楽部、合唱部のミニ公演、ミニコンサートをやってみてはどうか。
- 子どもがさまざまな仕事にチャレンジし、楽しみながら社会のしくみを学ぶキッズニアをやったらどうか。

これに対し、柳田さんからも、「高校生の研究発表やワークショップ、ミニコンサートに、地域からも地域の外からもさまざまな人が集まるようなイベントができると面白い」など、さまざまなコメントや提案をいただきました。

関高校のFRH活動では、例年、地域の観光資源開発に関する提案が数多く出されます。せきてらすに関しても、発表会場としての利用も含め、さまざまな観点から考えていきます。

